

[様式 9 - 1]

## 福祉サービス等第三者評価結果

## 総合評価

受診施設名	幼保連携型認定こども園 州見台さくら	施設 種別	幼保連携型認定こども園 (旧体系：保育所)
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会		

平成29年11月15日

総 評	<p>木津川市にある認定こども園州見台さくらは、平成20年4月に開設された新しいこども園ですが、今まで培ってきた社会福祉法人育宝会の運営基盤を有効に活用し、地域の子育て支援施設としての役割を担っています。</p> <p>理念には「さ…さくらの花のように明るく く…雲より高くのびのび ら…らしさを大切に」を掲げ、その理念に沿うように「見守る保育」と称し、「子どもの存在を丸ごと信じる。子どもに真心を持って接する。子どもを見守る。」の保育を職員が一貫して実践できるよう取り組んでいます。</p> <p>年間・月間指導計画は、毎回一から作り、その年その時期の子どもの姿に応じた内容となるよう心がけています。また、それらの計画や記録に対する評価・反省を丁寧に行っており、日々の保育や、子どもの発達を細やかに振り返り、子どもの育ちに最大限寄与しようという配慮を感じます。また、子どもの健康や安全、危機管理などについて、毎日の職員ミーティングや毎月の職員会議、ヒヤリハットやハザードマップなどの取り組みや記録を行い、職員間で情報を共有出来るよう取り組んでいることが伺えます。</p> <p>管理者を中心に、園の方針に沿った保育が実践されるよう取り組んでいると共に、法人全体でも2ヶ月に1度、研修会議を開き、それぞれの施設の取り組みをお互いに共有する機会を設け、子どもたちが過ごす環境がより良くなるよう研鑽に励んでいます。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>法人内研修を実施しており、毎年、法人3園から各2チームが同じテーマに沿って保育実践発表を行っています。3園で準備を含め、自園の保育や他園の保育内容を見つめ直したり、参考に出来る機会を設けたりしています。</li> <li>日常のヒヤリハットなど、危機管理について気づいたことを事務室のボードに職員ごとに付箋を貼るスペースを設け、積極的に収集し、その内容を集約し発信しています。各保育室で予想される危険な場所などを図で示し、誰でも意識できる環境を整備しています。</li> <li>指導計画は年間、月間、週日案と理念に沿った内容で細やかに策定し、それらの評価・見直しも丁寧に記入され、管理者からのアドバイス等の書き込みも定期的の実施され、その会議録は同じファイルに綴じ、分かりやすく整理されています。</li> </ul>
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業計画の策定を管理者だけでなく職員の意見も反映し実施すると共に、計画の裏付けとなる収支計画を策定し、保護者等に周知されると良いでしょう。また、その実施状況の評価・見直しを組織的に実施出来るよう工夫されると良いでしょう。</li> <li>新人育成計画や個別の職員育成に向けた目標や基準などを設け、取り組まれると良いでしょう。</li> </ul>

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

【様式 9-2】

# 【保育所版】 評価結果対比シート

(注) 判断基準「a b c」について

【平成28年度以前の基準とは異なるため、当評価結果との対比はできませんのでご留意下さい】

(a)は質の向上を目指す際の目安となる状態、(b)は多くの施設・事業所の状態、(c)はb以上の取り組みとなることを期待する状態、に改定されました。改訂後の評価基準に基づいた評価では(b)が一般的な取り組み水準となり、従前に比べて(b)の対象範囲が広がります。また、改正前に(a)であった評価項目が改正後の再受診で(a)を得られなくなる可能性もあります。

受診施設名	幼保連携型認定こども園州見台さくら
施設種別	幼保連携型認定こども園
評価機関名	一般社団法人京都府保育協会
訪問調査日	平成29年11月15日

保育所評価基準 対比シート (H29年4月～)

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	通番	項番	評価細目	評価結果	
					自己評価	第三者評価
I-1 理念・基本方針	I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。	1	①	理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	b	a
I-2 経営状況の把握	I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	2	①	事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	b	a
		3	②	経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	b	a
I-3 事業計画の策定	I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	4	①	中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	b	b
		5	②	中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	b	b
	I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。	6	①	事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	c	b
		7	②	事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	c	b
I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組	I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。	8	①	保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	b	b
		9	②	評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	b	a

**[自由記述欄]**

- ・保育の理念、基本方針、目標が明文化されており、入園のしおり(重要事項説明書)やホームページに明示されています。入園説明会等で保護者に説明し、職員会議で職員へも周知されています。
- ・地域の子どもを含む人口動態や周辺データを収集し、経営環境や課題について把握に努めています。
- ・経営状況や事業計画について、役員間(常務理事4名含む)で情報が共有されており、経営課題の改善に向けて取り組んで行けるよう努めています。
- ・法人の中・長期計画、単年度の計画が策定されています。今後は、計画策定を管理者だけでなく職員の意見も反映し実施すると共に、計画の裏付けとなる収支計画を策定し、保護者等に周知されると良いでしょう。また、その実施状況の評価・見直しを組織的に実施出来るよう工夫されると良いでしょう。
- ・行事ごとに保護者アンケートを匿名で実施し、保育内容の評価・反省に繋げています。また、年度末の職員会議で、1年間の保育内容の総括を実施し、課題等を職員間で共有出来るよう取り組んでいます。それらの内容は、文書化されています。

## II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
II-1 管理者の責任とリーダーシップ	II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。	10	① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a	a
		11	② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	c	b
	II-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。	12	① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	b	a
		13	② 経営の改善や業務の実行性を高める取組に指導力を発揮している。	b	a
II-2 福祉人材の確保・育成	II-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。	14	① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	b	b
		15	② 総合的な人事管理が行われている。	b	b
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	16	① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	b	a
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	17	① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	b	b
		18	② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	b	b
		19	③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	b	b
	II-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。	20	① 実習生等の保育に関わる専門職の研修・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	b	a
	II-3 運営の透明性の確保	II-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。	21	① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	b
22			② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	b	b
II-4 地域との交流、地域貢献	II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	23	① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	b	b
		24	② ボランティア等の受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	b	b
	II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	25	① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	b	b
	II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	26	① 保育所が有する機能を地域に還元している。	b	b
		27	② 地域の福祉ニーズにもとづく公益的な事業・活動が行われている。	b	b

### [自由記述欄]

- ・施設長は、遵守すべき法令等について把握し、取り組んでいます。今後は、職員が常に確認できるよう工夫されるとより良いでしょう。
- ・管理者は、毎日の昼ミーティングや月1回の全体職員会議、給食会議、クラス会議等に出席し保育内容が園の方針に沿った内容となるよう努めています。また、園内委員会として食育、図書、緑化、環境、危機管理の5つの委員会を設置し、事業運営が効果的に行えるよう取り組んでいます。
- ・中・長期計画の中で人材を人財と明記するなど、人材に関する意識や方針を理解し取り組んでいます。施設長と全職員の面談を年2回実施し、要望、相談、就業状況など意向を把握するよう努めています。今後は、新人育成計画や個別の職員育成に向けた目標や基準などを設け、取り組まれると良いでしょう。
- ・法人内研修を実施しており、毎年、法人3園から各2チームが同じテーマに沿って保育実践発表を行っています。3園で準備を含め、自園の保育や他園の保育内容を見つめ直したり、参考に出る機会を設けています。今後は、階層別研修や職種別研修などの計画に沿った機会を確保し、参加出来るようにするとより良いでしょう。
- ・近隣の保育園、幼稚園、小学校、中学校や地域の方々と共に取り組んでいる「きずなプロジェクト」に参画し、挨拶運動や作品展への参加など地域とのつながりを大切にしています。また、30名ほどの参加がある月2回の園庭解放や、地域の方にも参加してもらい園開催の夏祭りなど、こども園が有する機能や環境を有効に活用しています。今後は、それらの内容を地域へ発信したり、子育てに関する講習会や研修会などを実施されると良いでしょう。
- ・ボランティアの受け入れは、マニュアルを整備し、学生による体験学習の受け入れなども行っています。地域の学校教育への協力姿勢を園のしおりに明文化しています。

**Ⅲ 適切な福祉サービスの実施**

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果		
				自己評価	第三者評価	
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	28	① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a	a	
		29	② 子どものプライバシー保護等の権利擁護に配慮した保育が行われている。	b	a	
	Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。	30	① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	b	a	
		31	② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	b	a	
		32	③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	b	a	
	Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	33	① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	b	a	
		34	② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a	a	
		35	③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	b	a	
	Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。	36	① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a	a	
		37	② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	b	a	
		38	③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a	a	
		39	④ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。	b	b	
	Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。	40	① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	c	b
			41	② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	b	b
		Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。	42	① アセスメントにもとづく指導計画を適切に策定している。	b	a
			43	② 定期的な指導計画の評価・見直しを行っている。	b	a
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		44	① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化されている。	b	a	
		45	② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a	a	

**[自由記述欄]**

・毎日のミーティングでは、管理者から法人の理念や保育観を踏まえたアドバイスが質問や相談に対して送られ、子どもたちを尊重した教育・保育について一貫した理解を持って実践出来るよう取り組んでいます。

・個人情報保護規程、個人情報取り扱いマニュアルを作成し、利用者のプライバシーに配慮した職員教育が行われています。

・自園の情報や理念・保育指針などを行政発行の情報紙やリーフレットに掲載しています。また、Facebookを通じて自園の教育・保育内容を発信するなど情報を積極的に提供しています。苦情解決の仕組みを整備し、要望等に対し必ず何らかの形で全保護者にフィードバックするようにしています。

・日常のヒヤリハットなど、危機管理について気づいたことを事務室のボードに職員ごとに付箋を貼るスペースを設け、積極的に収集し、その内容を集約し発信しています。各保育室で予想される危険な場所などを図で示し、誰でも意識できる環境を整備しています。また、災害時の備蓄の管理を定期的に行い、非常時の連絡先の一覧、各自の役割表、不審者への対応なども掲示しており、危機管理や非常時の対応を徹底させています。今後は、警察や防犯関連サービスと連携した不審者対策の研修などを行えばより良いでしょう。全職員に対し「勤務の手引き」を作成し、配置された場所の職務内容を分かりやすく理解出来るよう周知しています。

・指導計画は年間、月間、週日案と理念に沿った内容で細やかに策定し、それらの評価・見直しも丁寧に記入され、管理者からのアドバイス等の書き込みも定期的実施され、その会議録は同じファイルに綴じ、分かりやすく整理されています。また、新たに導入したソフトウェア(ミマモリングソフト)では発達経過記録を共有出来るようになり、各会議、ミーティング等の記録を書面で共有することと併せて、子どもの発達や状況に応じて教育・保育が実践されるよう努めています。

A-1 保育内容

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-1 保育内容	A-1-(1) 保育課程の編成	46	① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて保育課程を編成している。	b	b
		47	① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	b	a
	A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開	48	② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	b	b
		49	③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	b	b
		50	④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	b	b
		51	⑤ 乳児保育（0歳児）において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a	a
		52	⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		53	⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		54	⑧ 障害のある子どもが安心して生活でき喜んで遊べる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		55	⑨ 長時間にわたる保育のための環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	b	b
		56	⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	b	b
		A-1-(3) 健康管理	57	① 子どもの健康管理を適切に行っている。	b
	58		② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a	a
	59		③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け適切な対応を行っている。	b	b
	A-1-(4) 食事	60	① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	b	a
		61	② 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。	b	b

**[自由記述欄]**

・理念や基本方針に沿った内容で、教育・保育課程を編成しています。今後は、保育に関わる職員が参画して、見直しを行うよう配慮すると良いでしょう。

・園舎内外は清潔に保たれており、採光、通風も良く適切に維持・管理に努めています。ランチルームや遊戯室があり、保育内容や午睡の時間に応じて、活用しています。また、園内のいたるところにドキュメンテーションが掲示されており、保育内容や行事について、ねらいや取り組み内容が分かるよう工夫しています。年齢ごとの目標や全体の目標、担任の趣味や特技なども各保育室に掲示されており、保護者に園のことを知ってもらえるよう取り組んでいます。

・「見守る保育」と称し、保育者主導ではなく子ども自らが育とうとする力を信じ、子どもを主体として接し、子どもを見守り促す保育が実践されるよう努めています。日々子どもたちとの関わりも丁寧であり、指導計画などに沿って保育に関わる職員が共通の意識を持って取り組めるよう努めています。まだまだ十分には無いと考えており、今後も様々な保育場面で、「見守る保育」の内容に沿った子どもとの関わりがさらに充実するよう取り組んでいます。

・週3日、全ての2歳児から5歳児がイギリス人の英語遊びを行います。英語遊びは、2歳から遊びを通して英語と触れ合うことで、英語が聞き取れる“耳”を作る事を目的として取り組んでいます。また、専門講師による体操も毎週あり、3歳児から5歳児が楽しんでます。

・アレルギー疾患のある子どもに対し、医師の指示のもと状況に応じて適切に対応しています。今後は、全園児にアレルギーを含まない同じ給食を提供する日を設けられるとより良いでしょう。食育活動としてリクエストメニューやチャレンジメニュー作りを子どもたちと一緒にしたり、職員のおすすめレシピを掲示するなど、食事を楽しくするよう工夫しています。

A-2 子育て支援

評価分類	評価項目	通番	評価細目	評価結果	
				自己評価	第三者評価
A-2 子育て支援	A-2-(1) 家庭との緊密な連携	62	① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	b	b
	A-2-(2) 保護者等の支援	63	① 保護者等が安心して子育てができるよう支援を行っている。	b	b
		64	② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	b	b
	A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）	65	① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	b	b

[自由記述欄]

・保育内容や思いについて、保育参観や行事を通して保護者の方に知ってもらう機会を設けています。また、保護者との懇談内容や日々の伝達事項なども記録を取って、園内で情報が共有できるよう取り組んでいます。今後は、記録する内容について職員間でばらつきが出ないようにルールや基準を設けられるとより良いでしょう。

・虐待等の疑いがあれば、対応出来るよう仕組みを整備しています。今後は、その内容について職員間で定期的に研修を実施されるとより良いでしょう。

・指導計画や保育の記録に対する評価・反省は充実しており、その内容は職員間で共有しています。今後は、保育教諭個別の自己評価を実施し、保育の質向上に繋がれるとより良いでしょう。